

あらすじ

小学生最後の夏休み。マコトが地下鉄のホームで出会ったのは、なんと古代魚の「シーラカンス」?!?

マコトは幼馴染のアキラとともに、この「謎」を調査しはじめる。

たくさんのヒレで地面を歩き、電車に乗って去った魚は、

希少生物「陸シーラカンス」だという。

地下鉄は陸シーラカンスの保護区に指定されていたのだ。

謎は解けたかに思えたが、再び出会ったシーラカンスが

話しかけてきて事態は一変! ありえない出来事に困惑するマコトと、

大興奮のアキラ。マイペースに会話を楽しむシーラカンス。

話せる事が大人にバレたら、きっと研究のために連れ去られる。

二人はシーラカンスを「師匠」と呼び、秘密の交流がはじまる。

水族館やプラネタリウムへの冒険、

古生代への不思議なタイムスリップを通して、

二人と一匹の友情は深まっていくが、周りの大人たちによる

希少種保護への動きが本格化して…!?

マコトとアキラは迷いながらも、

友達の「ほんとうの望み」を叶えるために走り始める!

驚きとスリルに満ち、爽やかな感動を呼ぶ友情物語!

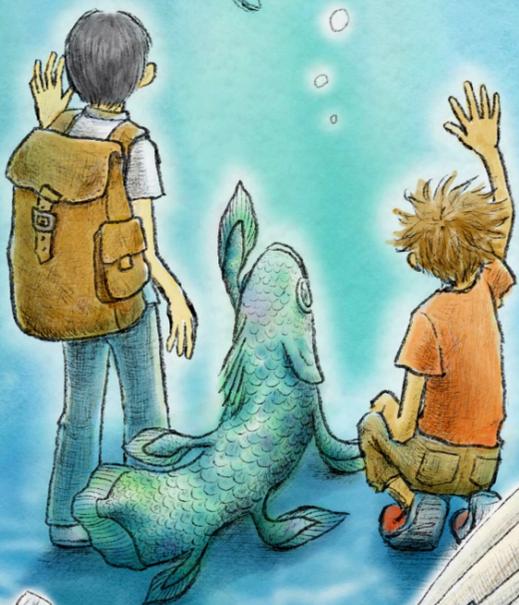


演出・長谷川友香

2006年入団。人形劇役者として劇団創立60周年記念作品『ウィッシュリスト〜じいさんと幽霊少女の願いごと〜』などで主演を努める。出演した『おもしろげきじょう』はASSITEJ Korea Internationalの招待公演を受け、全編韓国語で上演を行った。また、演出家として劇団作品を数多く手がける。全国専門人形劇団協議会理事。

演出のこぼれ

私は小学生の頃、とても体が弱い子どもで、無理をしないよう言い聞かされていました。大人が示す「やらない方がいいこと」を、そういうものだと思いつつも受け入れながらも、言いようのない息苦しさを感じていました。本当は、正解も失敗も全部自分で知りたい。先に道を整えたりしないでほしい!と。今は情報があふれ「正しいこと」「間違っていること」が先に示される世の中です。子どもたちは、本当に自分自身で体験して考えるよりも前に「情報」を得てしまう。それは、あの頃私が感じた息苦しさを閉塞感となんだかよく似ています。この物語の主人公マコトたちも、閉塞感の中で生きる現代の子どもです。でも、喋るおかしなシーラカンスとの出会いで彼らの毎日は変化します。閉塞感を振り切って、誰も行ったことのない未知の世界にがむしゃらに飛び込もう。挑戦しよう。わくわくしていよう。マコトたちの冒険を通してそんな思いを今、子どもたちと分かち合いたいと思っています。さあ、マコトとアキラとシーラカンス師匠と一緒に走りだしましょう。星の輝く冒険の夜が待っています!



『シーラカンスとぼくらの冒険』

原作/歌代朔 (あかね書房刊)

全国学校図書館協議会選定基本図書

日本図書館協議会選定図書

第41回 児童文芸新人賞受賞作品が待望の舞台化!

地下鉄シーラカンスの謎
研究ノート

